情報サービス産業動向調査 速報版
情報サービス産業におけるコロナ禍の影響調査結果

※詳細な分析結果は、2021年春刊行「情報サービス産業白書2021」に掲載予定

2020.12.3｜一般社団法人　情報サービス産業協会　白書編纂タスクフォース

１．経営の現状や今後の見通し

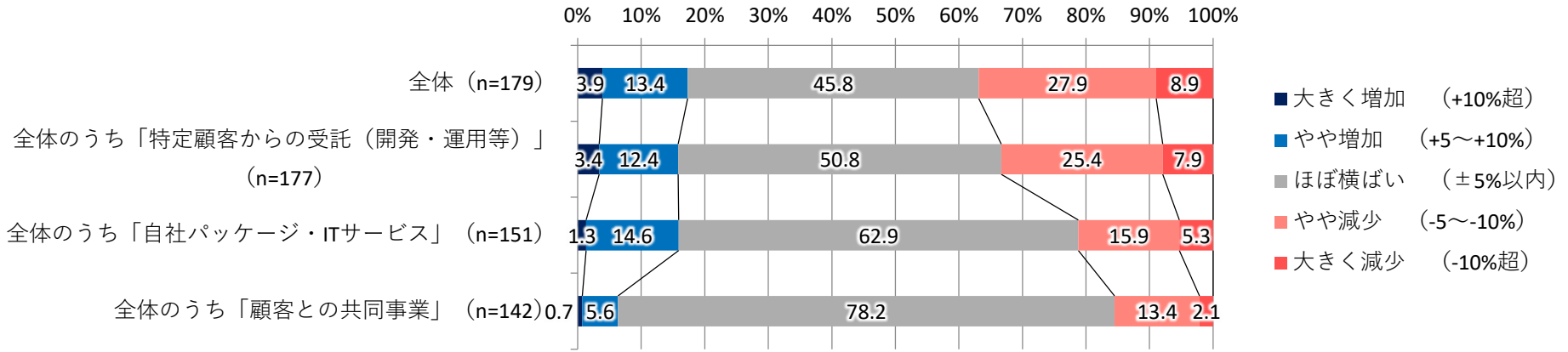
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

①今年度の業況

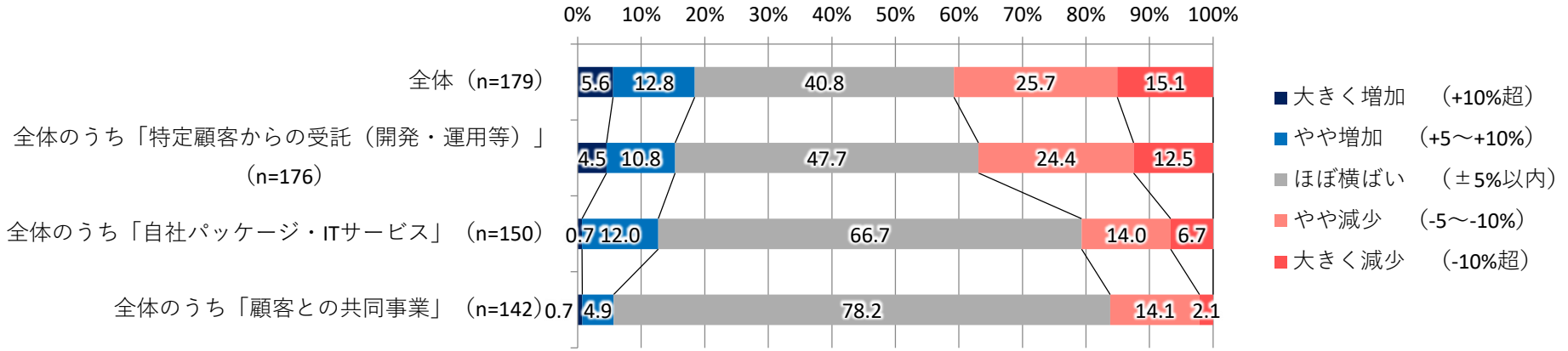
昨年度から、ほぼ横ばいとの見通しが多い。「特定顧客からの受託（開発・運用等）」を中心に、売上高と経常利益は減少するとの回答割合が高い。

Q.貴社では、昨年度（2019年度）と比べた今年度（2020年度）の業況をどのように見通していますか。以下のそれぞれの項目について、貴社の見解として該当する番号に○印をつけて下さい

今年度の業績
売上高の
前年度比較



今年度の業績
経常利益の
前年度比較



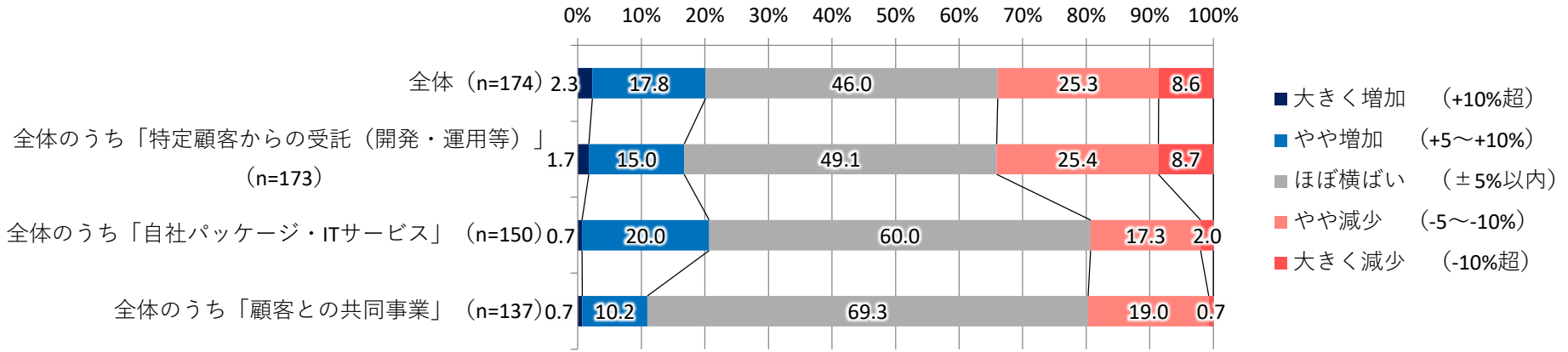
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

②来年度の業況

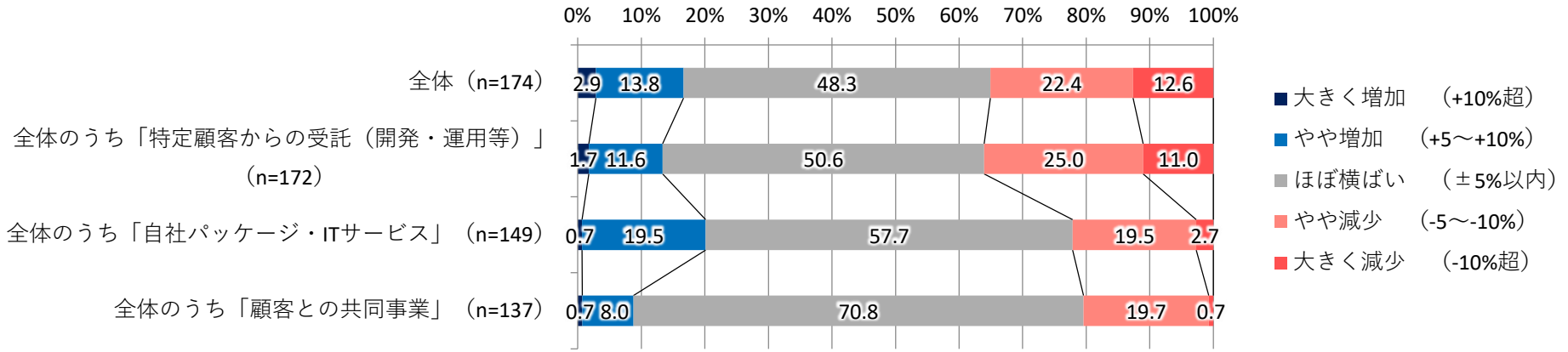
昨年度から、ほぼ横ばいとの見通しが多い。「特定顧客からの受託（開発・運用等）」を中心に、売上高と経常利益は減少するとの回答割合が高い。※①今年度の業況とほぼ同じ傾向

Q.貴社では、昨年度（2019年度）と比べた来年度（2021年度）の業況をどのように見通していますか。以下のそれぞれの項目について、貴社の見解として該当する番号に○印をつけて下さい。

来年度の業況
売上高の
前年度比較



来年度の業況
経常利益の
前年度比較



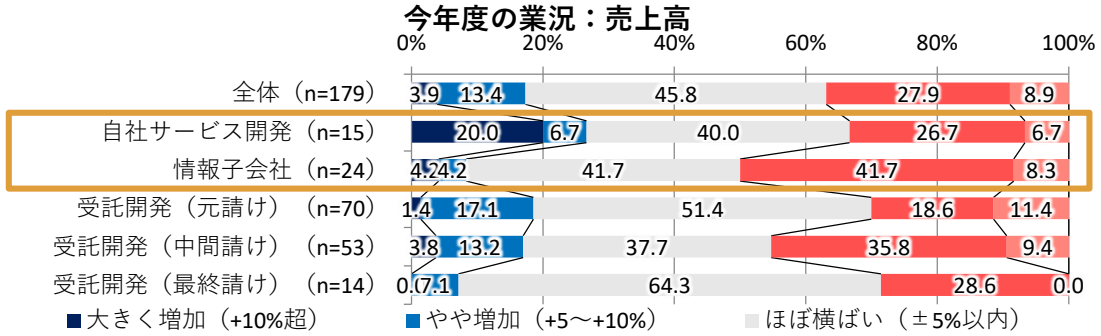
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

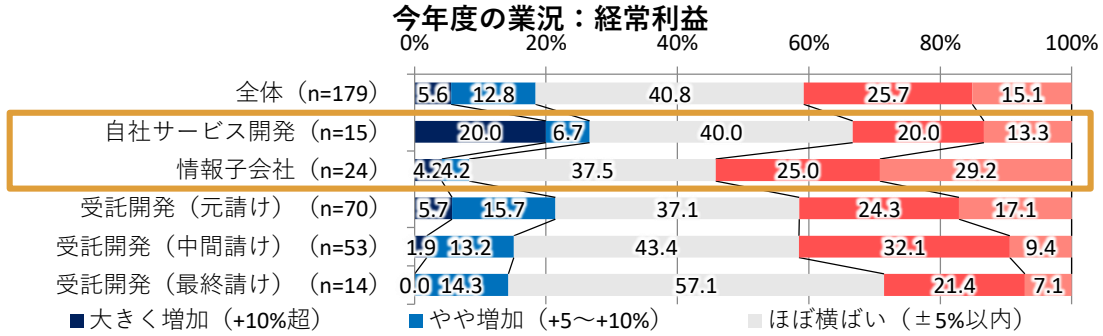
③開発形態毎の業況見通し

「自社サービス開発」がメインの開発形態である企業は、「大きく増加する」と回答する割合が比較的高い。情報子会社は、今年度は減少の割合が高いが、来年度の見通しは多少上向く。

Q.貴社では、昨年度（2019年度）と比べた今年度（2020年度）の業況をどのように見通していますか。以下のそれぞれの項目について、貴社の見解として該当する番号に○印をつけて下さい

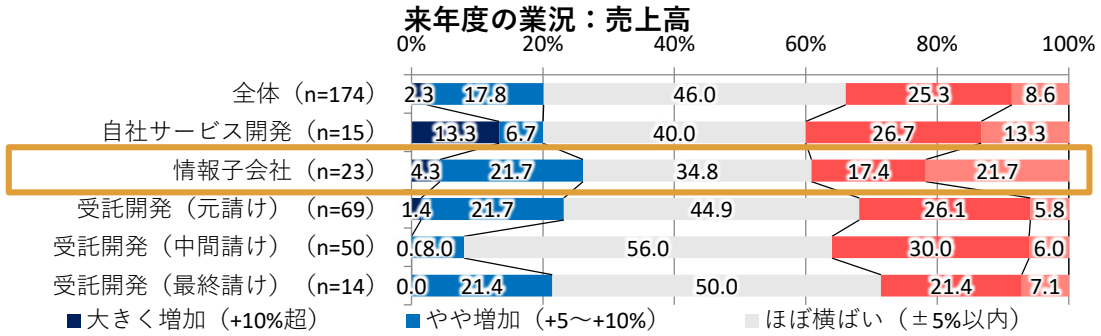
今年度の業況

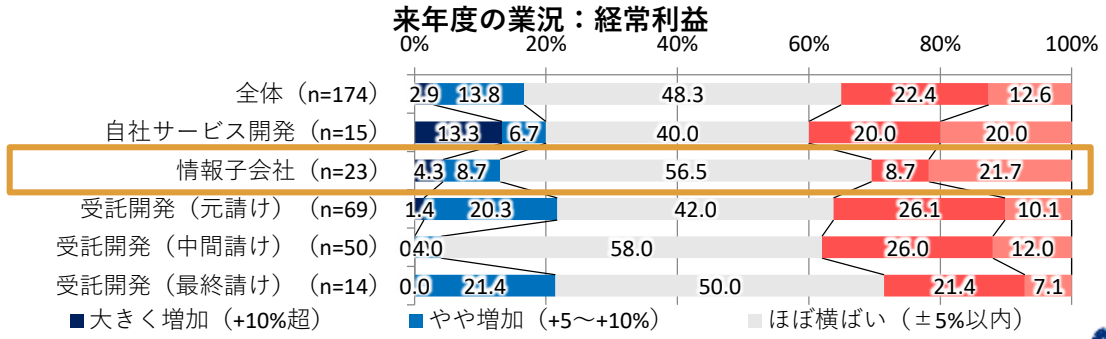




Q.貴社では、昨年度（2019年度）と比べた来年度（2021年度）の業況をどのように見通していますか。以下のそれぞれの項目について、貴社の見解として該当する番号に○印をつけて下さい

来年度の業況





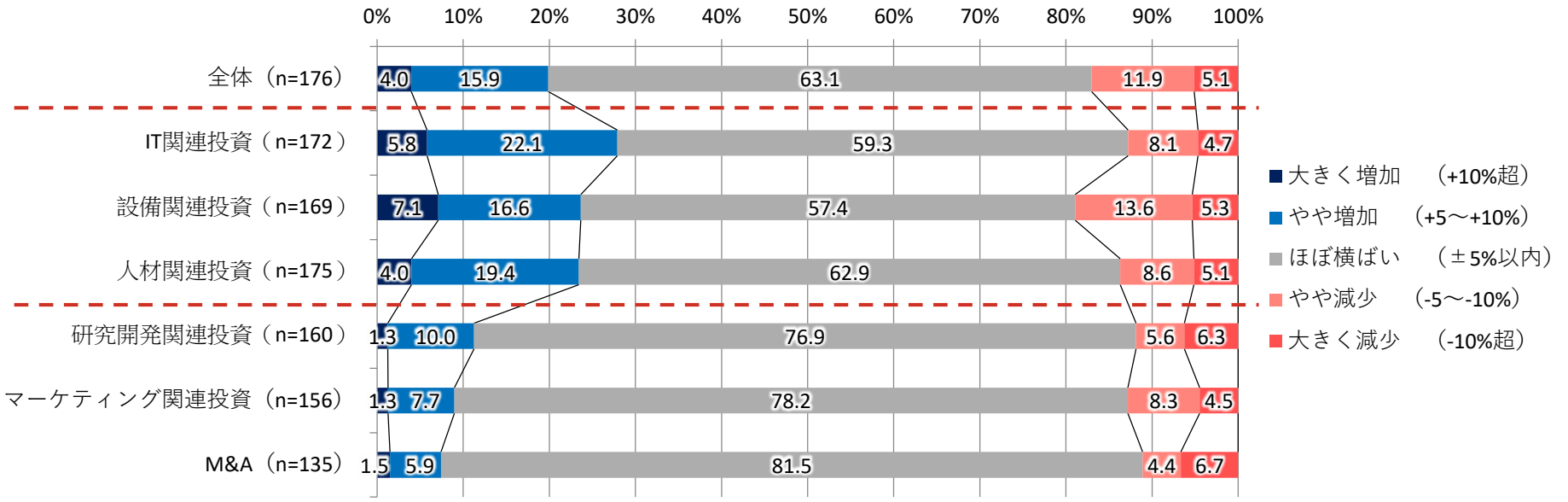
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

④今年度の自社投資状況

昨年度から、ほぼ横ばいとの見通しが多い。コロナ禍に起因するリモートワークの進展に伴ったITや設備関連投資や、人材関連投資が増えている。

Q.貴社では、昨年度（2019年度）と比べた今年度（2020年度）の自社への投資をどのように計画していますか。以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。

今年度の
自社投資状況



All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

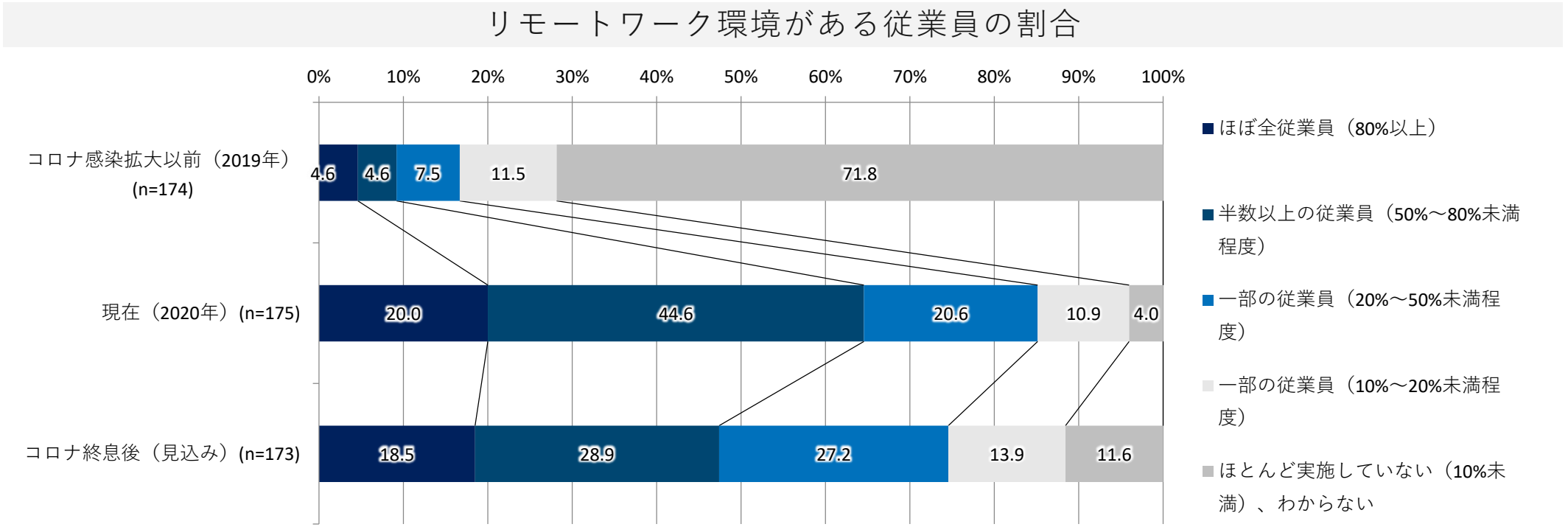
2．コロナ禍の影響

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

①リモートワーク環境がある従業員の割合

コロナ禍に起因してリモートワーク環境の整備が大きく進んだ。コロナ禍終息後においても、環境は維持される見込みとなっている。

Q.貴社のリモートワークが可能な従業員の割合に関して、以下それぞれの項目について、最も近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけて下さい。

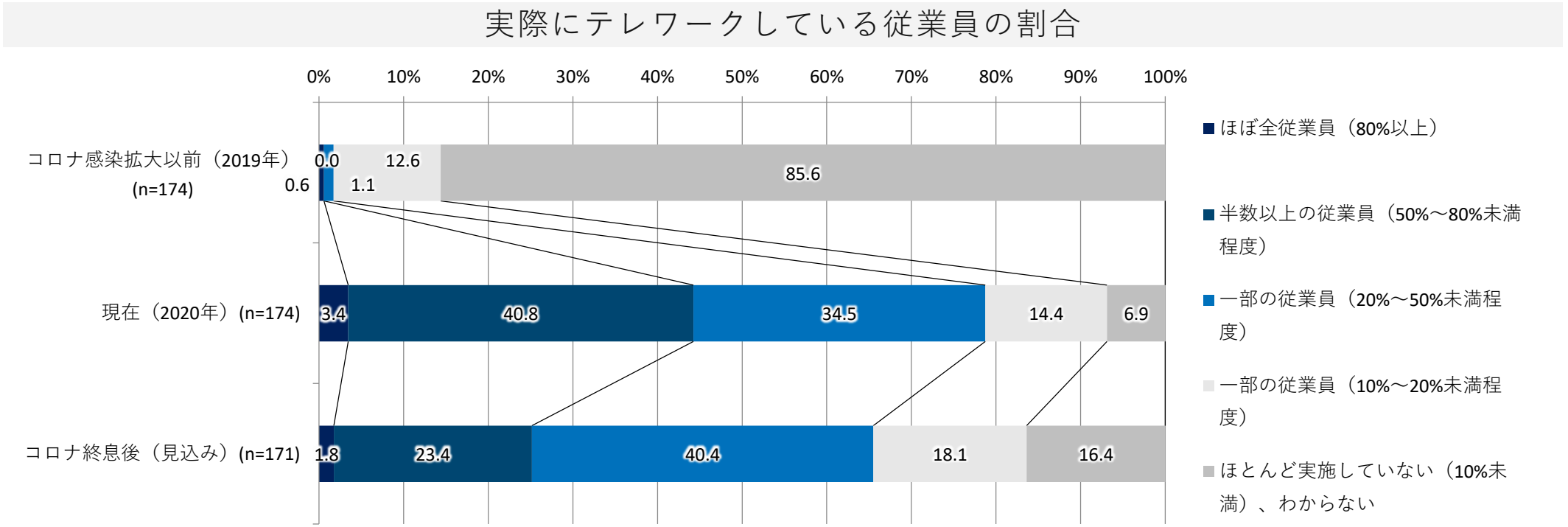


All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

②実際にテレワークしている従業員の割合

コロナ禍に起因してリモートワークを実施する人は急激に増加した。コロナ禍終息後においても、リモートワークの実施は定着する見込みとなっている。

Q.貴社でリモートワークを実施している従業員の一日当たりの平均的な割合に関して、以下それぞれの項目について、最も近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけて下さい。

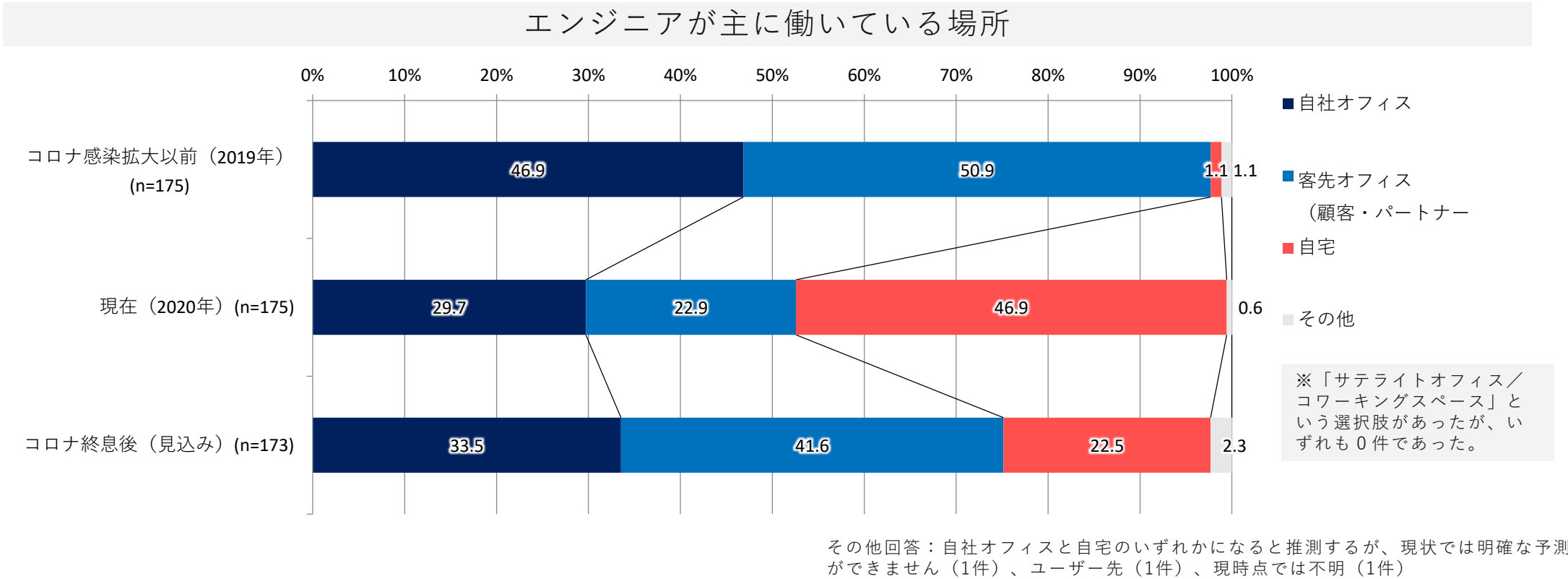


All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

③エンジニアが主に働いている場所

自宅での業務実施がコロナで急激に増加した。コロナ終息後も、自宅での業務実施は２割強残る見通し。客先オフィスはコロナ終息後にある程度、元に戻る見通しとなっている。

Q.貴社のエンジニアが主に働いている場所に関して、以下それぞれの項目について最も割合が高いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけて下さい。



その他回答：自社オフィスと自宅のいずれかになると推測するが、現状では明確な予測ができません（1件）、ユーザー先（1件）、現時点では不明（1件）

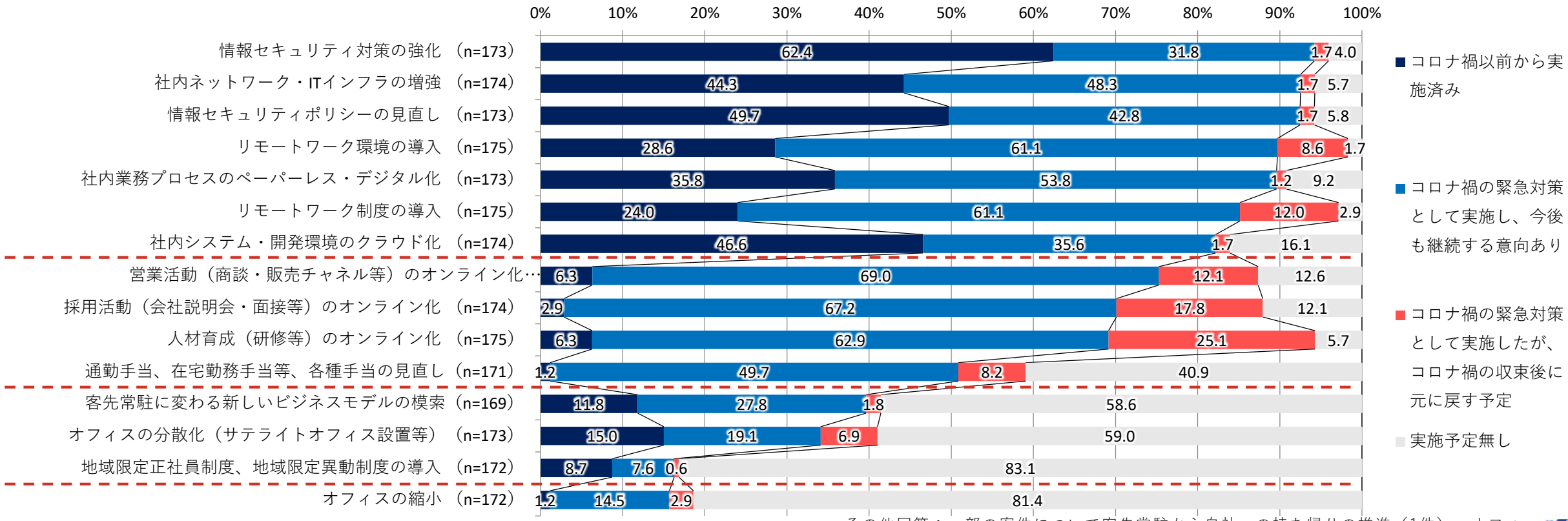
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

④自社事業継続に向けた取り組み状況・意向

情報セキュリティ対策の強化など、リモートワーク実施に必要な環境面の整備はコロナ禍以前より実施している企業も多かったが、コロナ禍でさらに進展した。営業・採用・人材育成のオンライン化などは、コロナ禍を契機に急激に進展した。客先常駐にかわるビジネスモデルの模索やオフィスの分散化などは、コロナ禍以前より実施している企業もいたが、コロナ禍契機で大きく進展はしなかった。

Q.貴社の自社事業継続に向けた取り組み状況・意向に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。

自社事業継続に向けた取り組み状況・意向



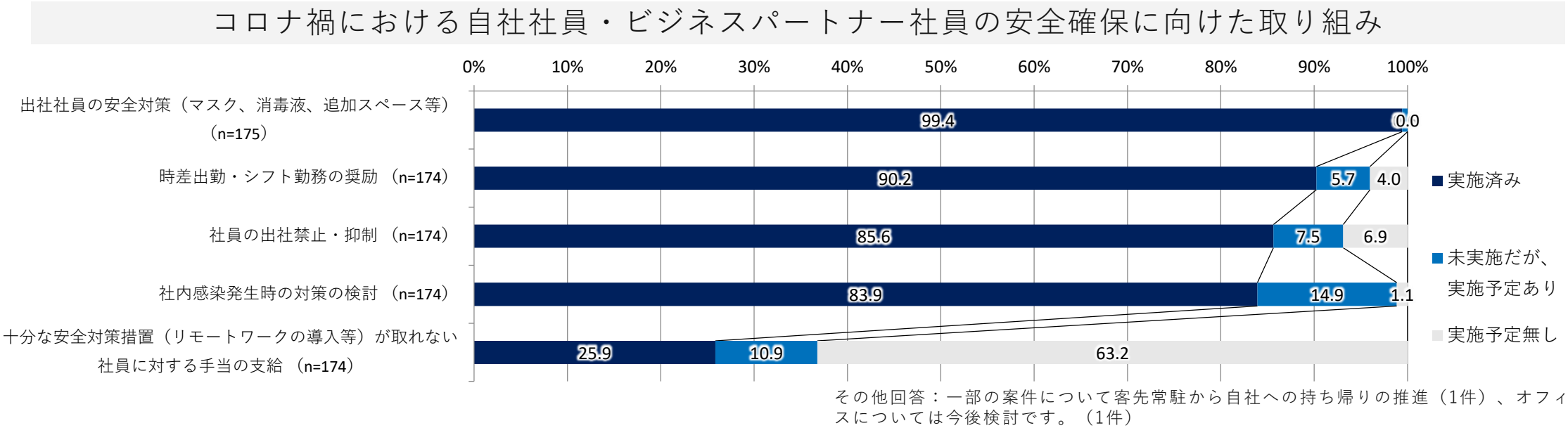
その他回答：一部の案件について客先常駐から自社への持ち帰りの推進（1件）、オフィスについては今後検討です。（1件）

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

⑤コロナ禍における自社社員・ビジネスパートナー社員の安全確保に向けた取り組み

社員に対する手当の支給以外は、おおむね実施済みとなっている。

Q.貴社のコロナ禍における自社社員・ビジネスパートナー社員の安全確保に向けた取り組みに関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。



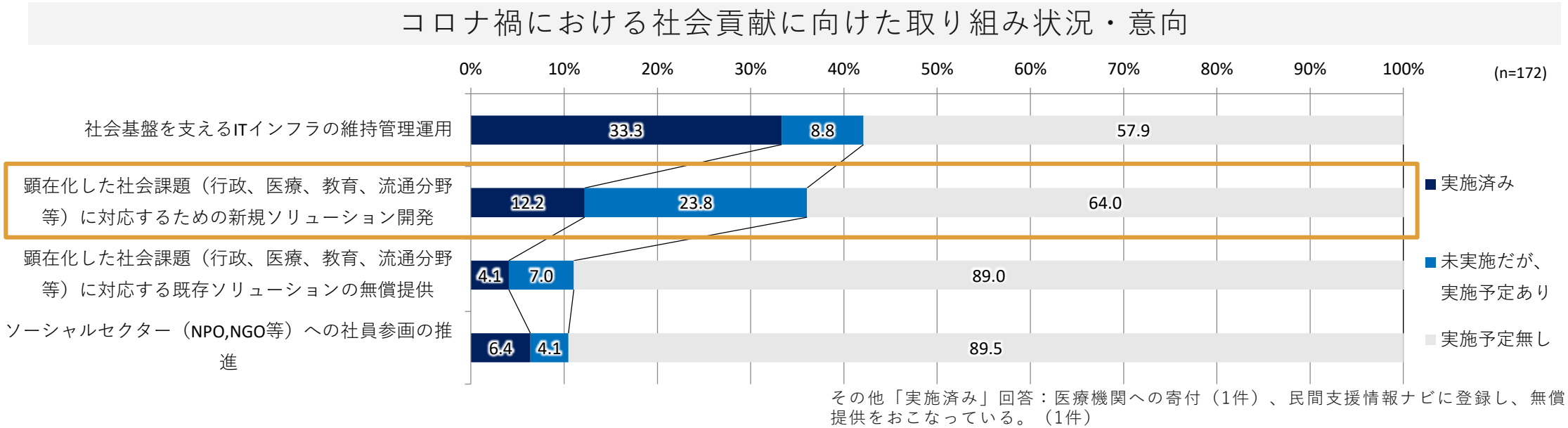
その他回答：一部の案件について客先常駐から自社への持ち帰りの推進（1件）、オフィスについては今後検討です。（1件）

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

⑥コロナ禍における社会貢献に向けた取り組み状況・意向

コロナ禍を契機に、社会課題に対応するための新規ソリューション開発の意向が高まった。

Q.貴社のコロナ禍における社会貢献に向けた取り組み状況・意向に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい



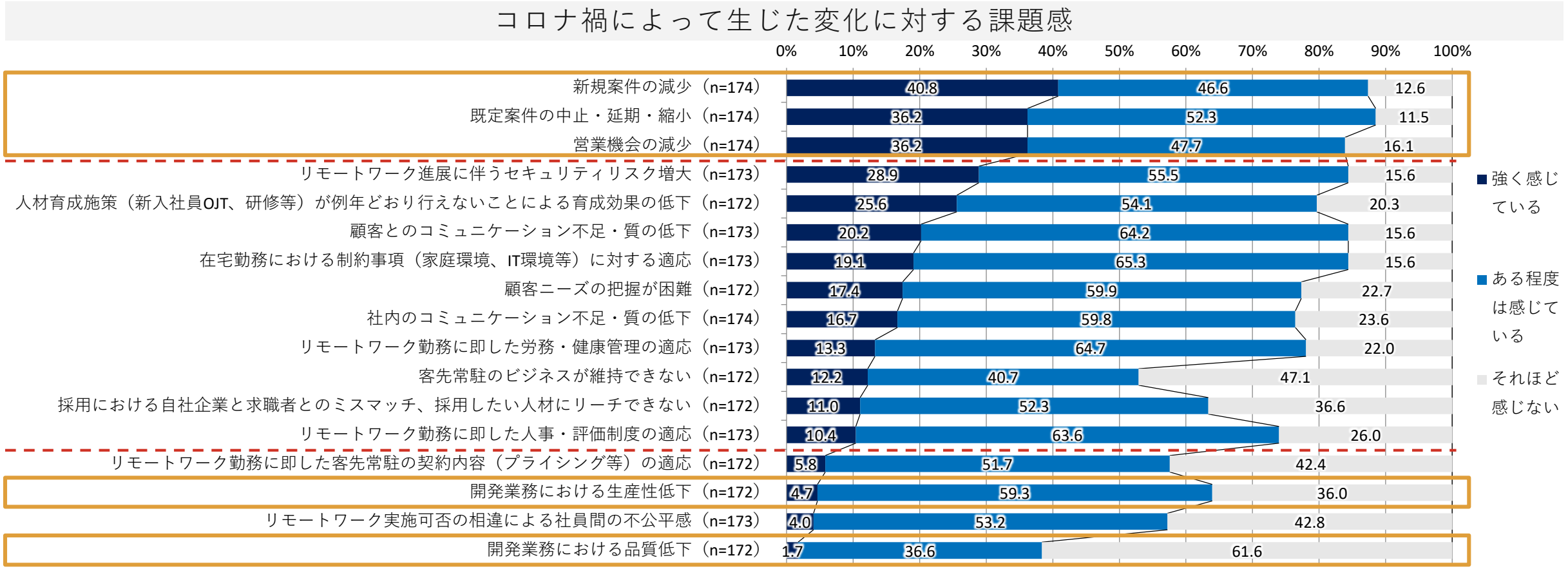
その他「実施済み」回答：医療機関への寄付（1件）、民間支援情報ナビに登録し、無償提供をおこなっている。（1件）

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

⑦コロナ禍によって生じた変化に対する課題感

新規案件や営業機会の減少、既定案件の中止・延期・縮小については、課題感が強い。一方で、開発業務の生産性・品質の低下については、課題感は低い。

Q.コロナ禍によって生じた変化に対する貴社の課題感（どんな不安を抱き、どんな課題を認識したか）に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。



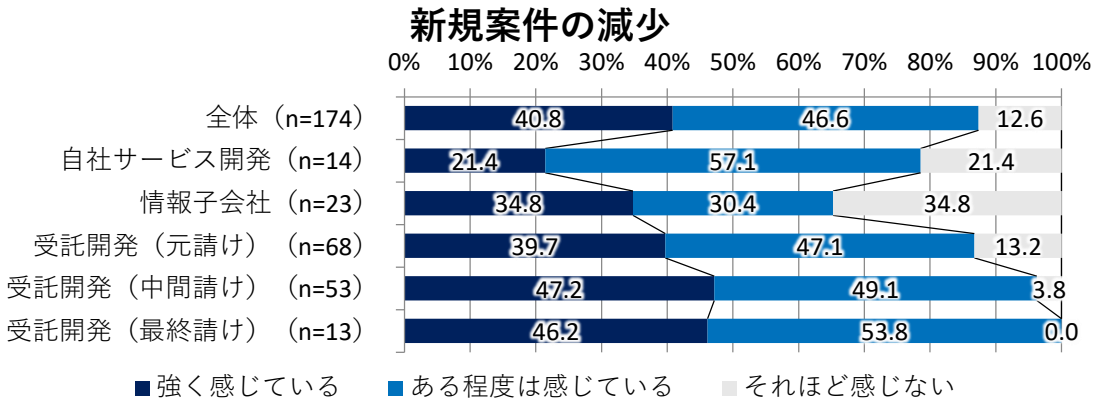
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

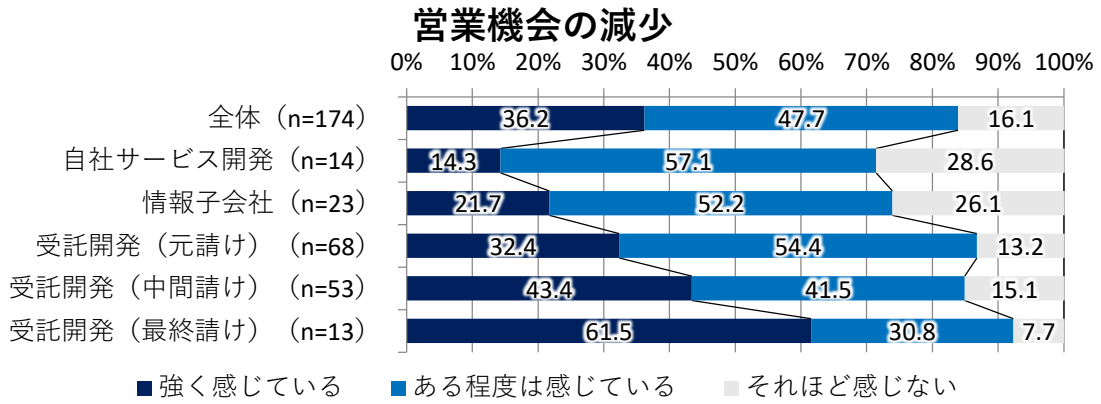
⑧受託開発における課題感

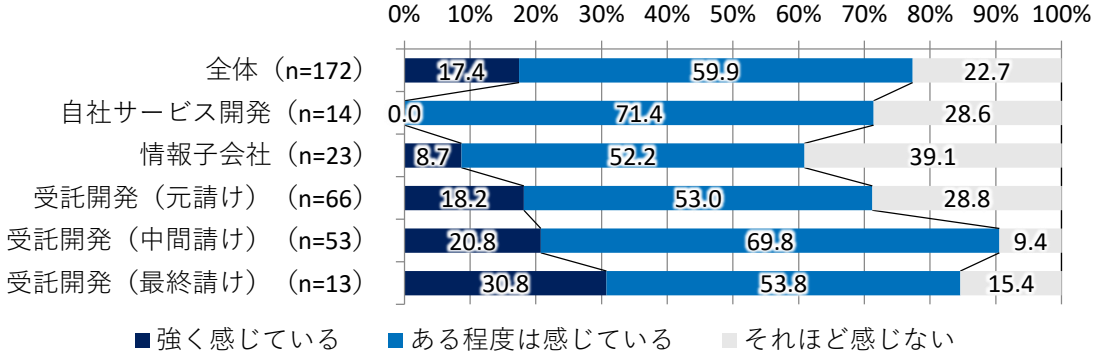
受託開発の階層が深くなるほど、新規案件や営業機会の減少に対する課題感が強くなる傾向がある。それと併せて、顧客とのコミュニケーションが不足・質の低下や、顧客ニーズの把握に対する課題感も強くなる。

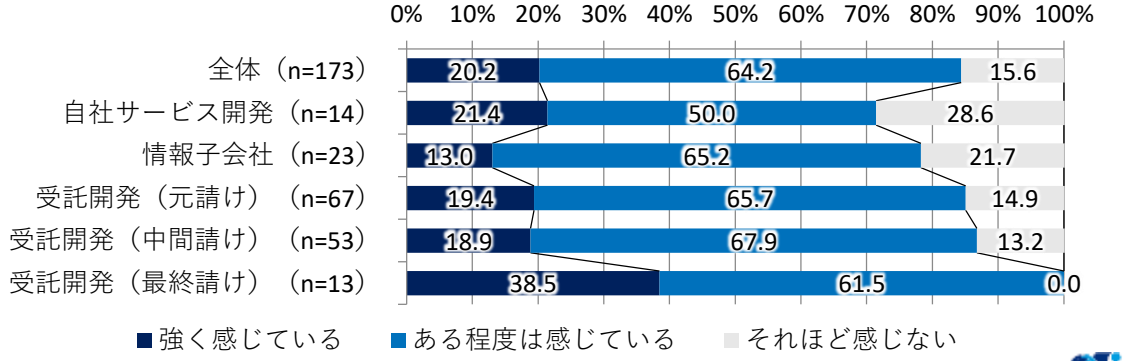
Q.コロナ禍によって生じた変化に対する貴社の課題感（どんな不安を抱き、どんな課題を認識したか）に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。

コロナ禍によって生じた変化に対する課題感







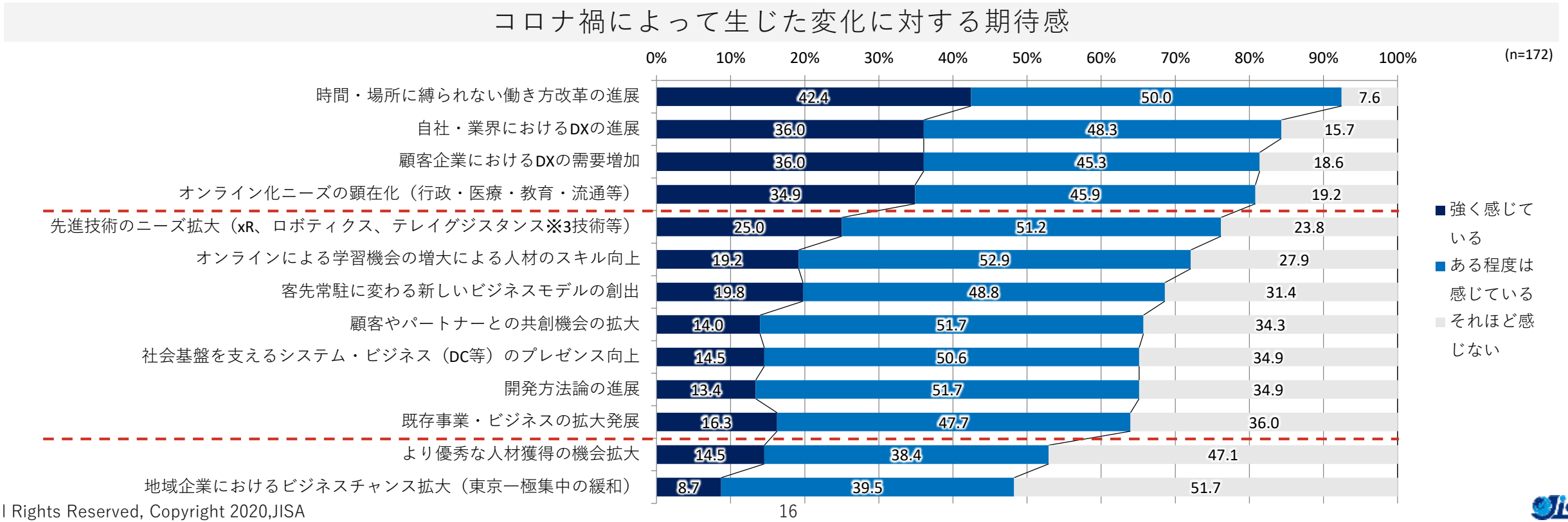


All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

⑨コロナ禍によって生じた変化に対する期待感

働き方改革、顧客企業や自社・業界におけるDXの進展、オンライン化ニーズの顕在化に対する期待感が強い。一方で、人材獲得の機会拡大や、地域のビジネスチャンス拡大に対する期待感は低い。

Q.コロナ禍によって生じた変化に対する貴社の期待感（どんな期待を抱き、どんな可能性を認識したか）に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。



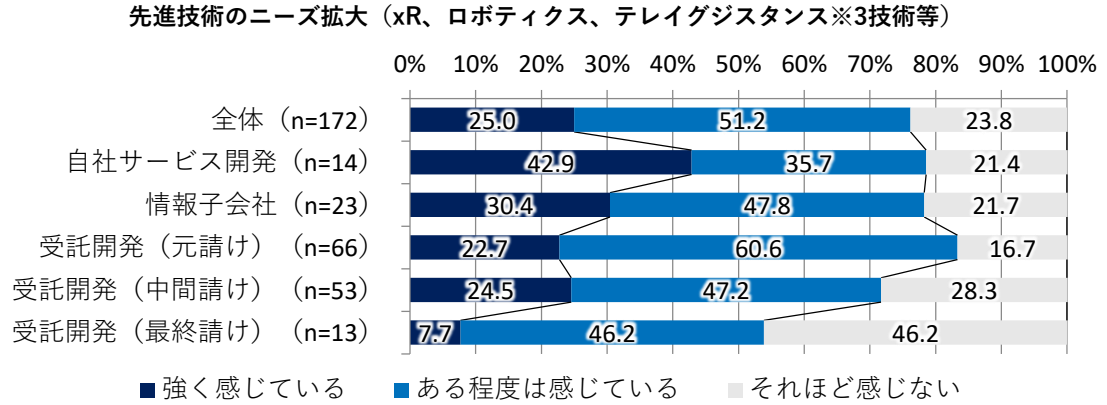
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

⑩先進技術のニーズ拡大に対する期待感

「自社サービス開発」がメインの開発形態である企業は、先進技術のニーズ拡大に対する期待感が強い。

Q.コロナ禍によって生じた変化に対する貴社の期待感（どんな期待を抱き、どんな可能性を認識したか）に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。

コロナ禍によって生じた変化に対する期待感



All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

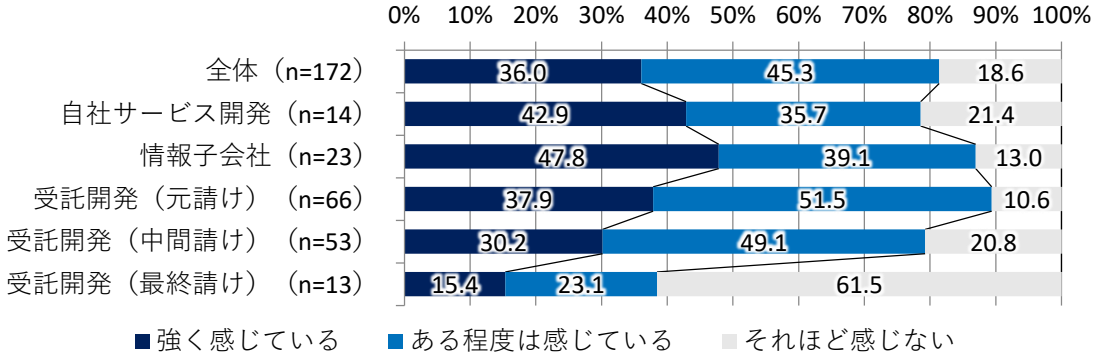
⑪ＤＸの進展に対する期待感

情報子会社は、顧客企業や自社・業界におけるDXの進展、オンライン化ニーズの顕在化に対する期待感が強く、既存事業への期待感は低い。

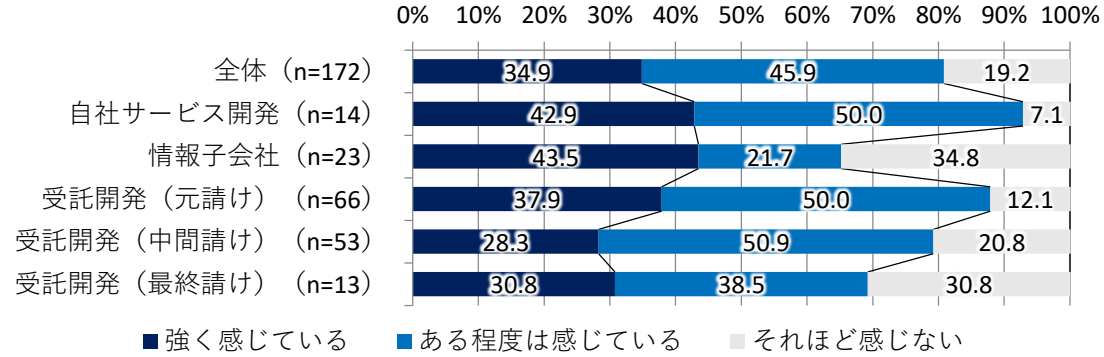
Q.コロナ禍によって生じた変化に対する貴社の期待感（どんな期待を抱き、どんな可能性を認識したか）に関して、以下のそれぞれの項目について、該当する番号に○印をつけて下さい。

コロナ禍によって生じた変化に対する期待感

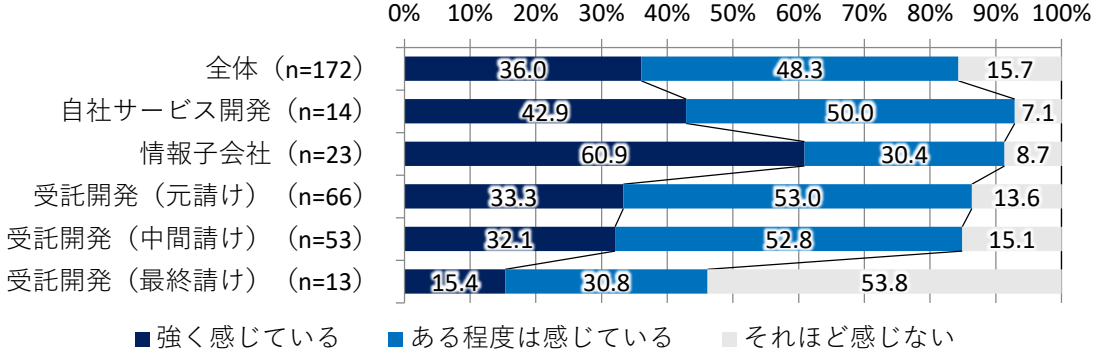
顧客企業におけるDXの需要増加



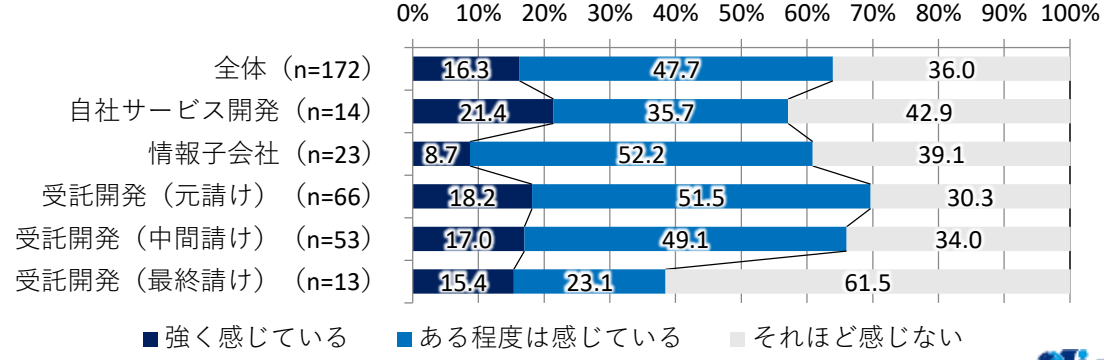
オンライン化ニーズの顕在化（行政・医療・教育・流通等）



自社・業界におけるDXの進展



既存事業・ビジネスの拡大発展



All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

Appendix
回答者プロフィール

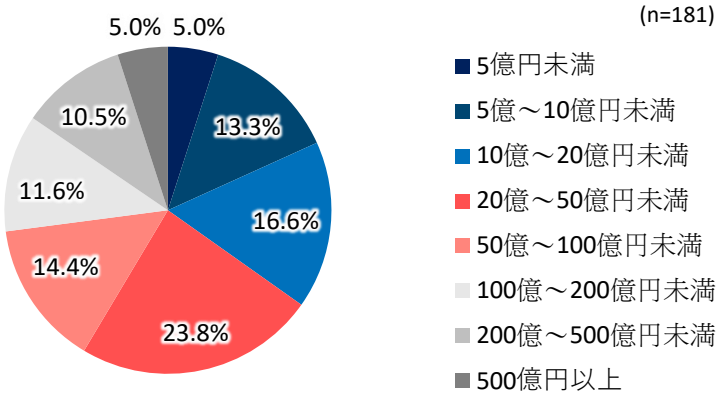
All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

回答者プロフィール

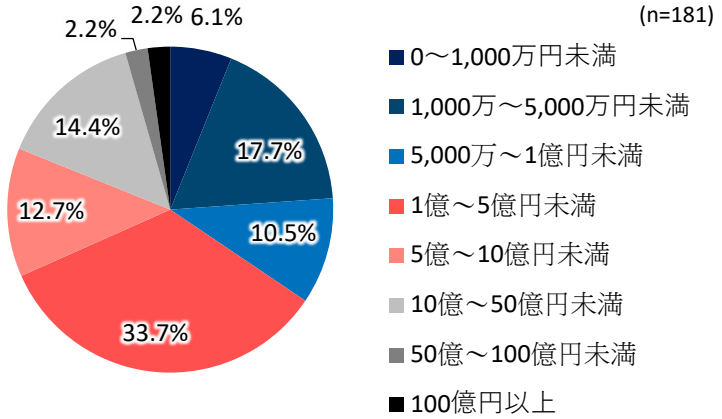
①売上高／経常利益／正規従業員数

Q.貴社の直近年度の「a.売上高」「b.経常利益」「c.正規従業員数」をご記入下さい。※連結ではなく、貴社単体としてご回答下さい。

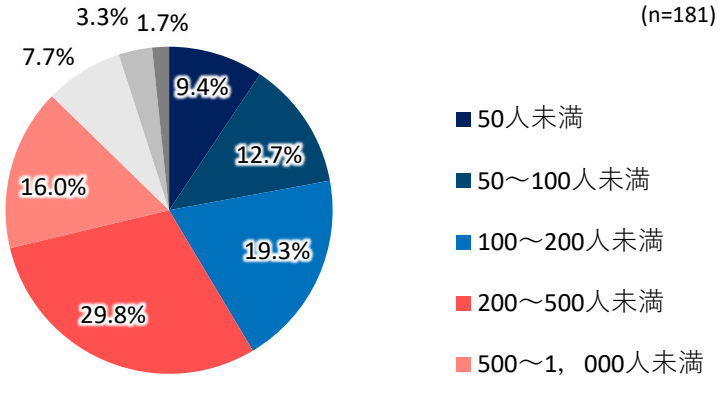
売上高



経常利益



正規従業員数

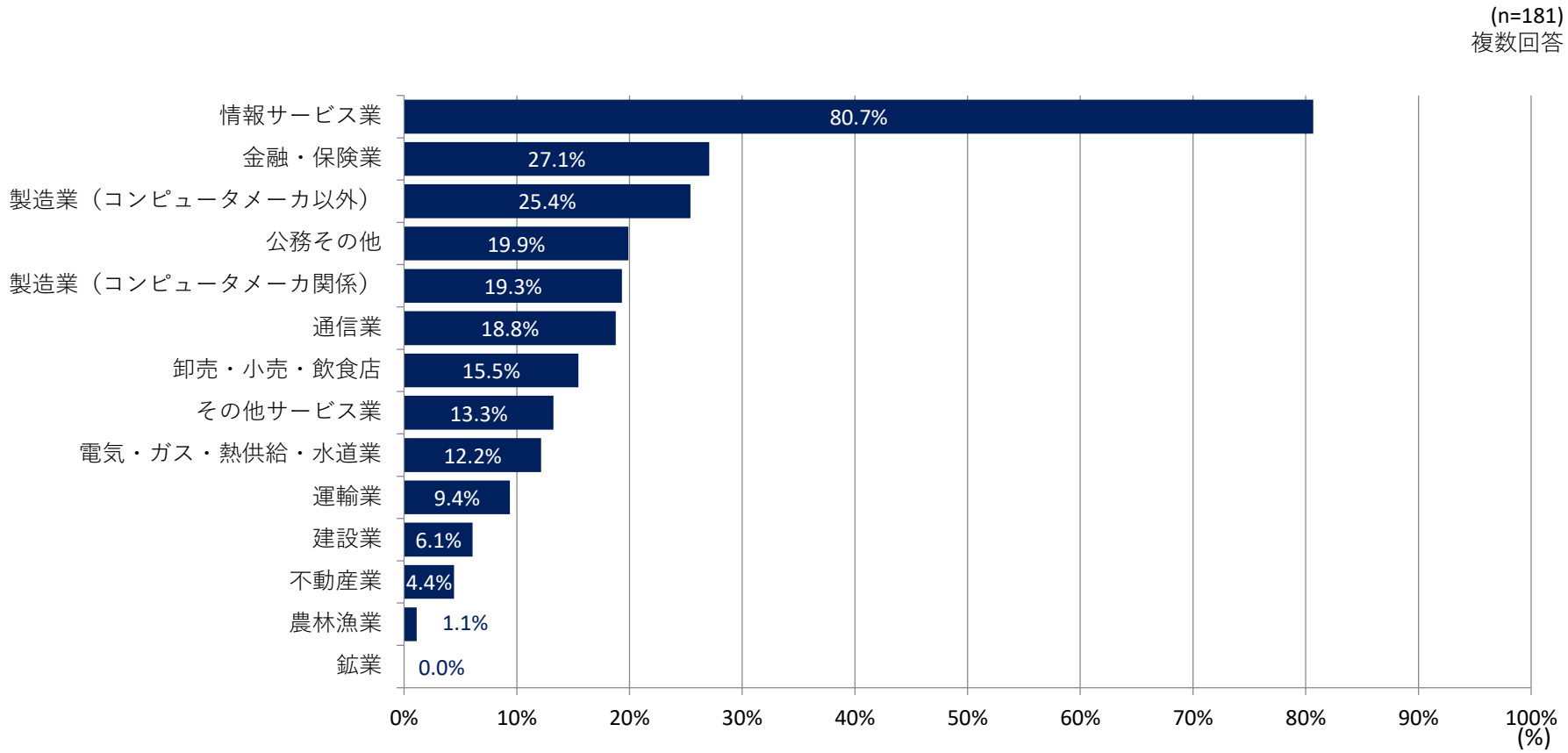


All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

②主要顧客の業種

Q.貴社の主要顧客の業種として当てはまるものを全て選び、該当する番号に○印をつけて下さい。（○はいくつでも）

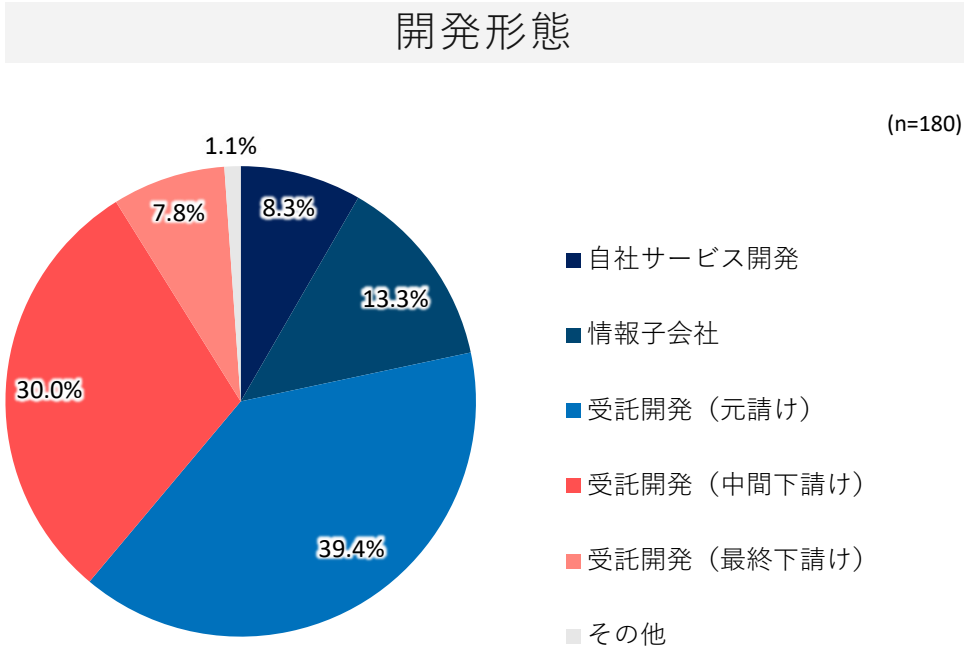
主要顧客の業種（複数回答）



All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

③開発形態

Q.貴社の事業のうち、最も割合の高い開発形態は何ですか。最も近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけて下さい。（○は１つだけ）

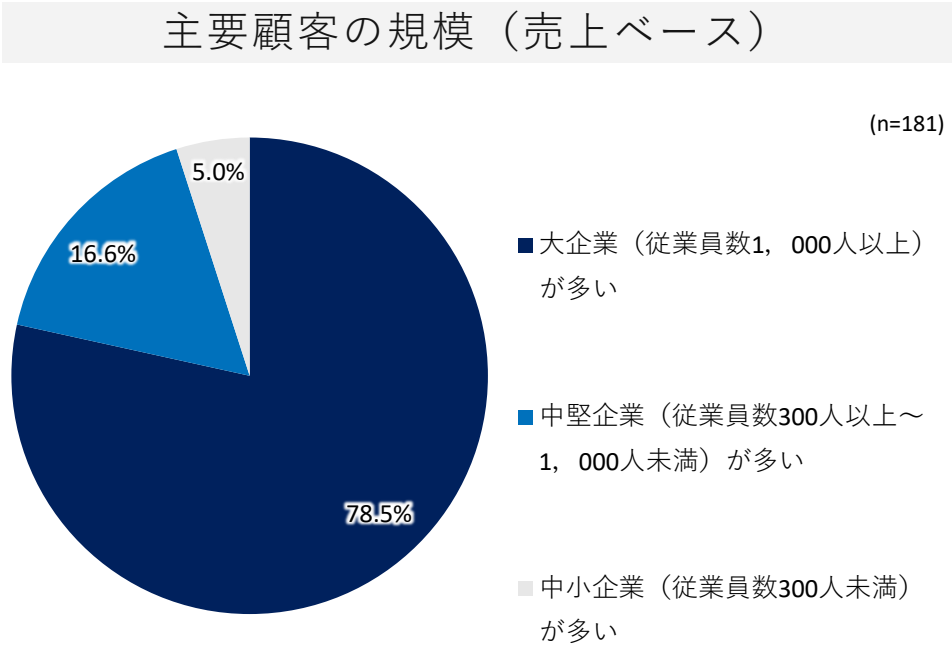


その他回答：SES（1件）、該当なし（1件）

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

④主要顧客の規模

Q.貴社の主要顧客（売上ベース）の規模として最もよく当てはまるものを選び、該当する番号に○印をつけて下さい。（○は１つだけ）



All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA

All Rights Reserved, Copyright 2020,JISA